

令和5年度 大村高等学校定時制 学校評価（自己評価） 総括評価

評価	4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない
----	--

	評価項目	具体的項目	目 標	具 体 的 方 策	年間 総括	中間 評価	昨年 総括
① 学校経営	(1) 教育方針	学校教育目標の具現化	目標が設定され、教師間の共通理解のもとに行う。	校務分掌・学年の経営方針に重点を置き実践している。	3.3	3.1	3.3
	(2) 努力目標	明確化と実践	学校内外に明確化している。	重点努力目標が周知徹底しており実践している。	3.3	3.2	3.4
	(3) 学年(学級)経営	目標の具現化	学年(学級) 目標に沿った経営を行う。	学年(学級) が目標達成に向け努力している。	3.4	3.4	3.4
② 教育活動	(1) 教育課程	適切な教育課程	学習指導要領の主旨を生かした特色のある教育課程を編制する。	教育課程の編成に創意・工夫がなされている。	3.3	3.2	3.3
	(2) 教科指導	基礎学力の充実	実態にそった効果的な指導法の実践	授業時間が確保されている。	3.2	3.5	3.4
				個に応じたわかる授業が実践されている。	3.3	3.4	3.5
	(3) 総合的な学習の時間	創意工夫した活動	指導要領を踏まえ、定時制の特性を生かした活動を行う。	生徒の実態に即した計画と実践がなされている。	3.2	3.4	3.4
	(4) 特別活動	生徒会活動の充実	生徒相互の融和と魅力的学校づくり	執行部を中心とする自主的・自立的活動がなされている。	3.6	3.4	3.6
				学校行事の充実	効果的な行事をおこなう。	主体的かつ積極的に参加できる行事を行っている。	3.4
	(5) 生徒指導	基本的な生活習慣	生徒理解のもと全教職員でおこなう。	校則遵守の態度育成と交通安全指導の徹底を行っている。	3.2	3.4	3.0
	(6) 進路指導	進路指導の充実	体系的な進路指導体制の確立	学業と勤労の両立と、勤労観・職業観を育て進路意識を高揚させている。	3.1	3.3	3.3
	(7) 健康・安全教育	健康維持	生活環境の把握と健康維持の適切な指導	健康や安全に関する情報を提供し、自己管理できる生徒を育成する。	3.0	2.9	3.2
	(8) 人権・同和教育	人権尊重の態度育成	様々な課題を認識させ、解決のための実践力を養う。	職員研修の実施とHRでの指導で生徒の人権意識を高揚させている。	3.2	2.9	3.3
(9) 環境教育	環境尊重の態度育成	様々な課題を認識し、解決する実践力を培う。	HRや日常的な指導で生徒の環境意識を高揚させる。	3.2	2.8	3.3	
(10) 課外活動(部活動)	部活動の活性化	参加を奨励し活発に活動させる。	達成感を持たせ、仲間づくりを援助している。	3.1	2.8	3.5	
③ 組織運営	(1) 校務分掌	適切な役割分担	適切に仕事を処理する。	教職員の能力・適性を生かしている。	3.5	3.0	3.4
	(2) 校内研修	研修体制の確立	計画的・組織的におこなう。	事例研修を推進し校内研修を深める。	3.1	3.0	3.4
④ 教育環境	(1) 教育環境の整備	潤いのある生活環境の整備	日々の清掃が行き届き美化意識を高める。	全校生徒・全教職員で積極的に取り組んでいる。	3.5	3.5	3.4
	(2) 情報化の設備充実	教育活動全般の情報化	パソコン等を使った校務処理を適切におこなう。	パソコンによるネットワークを利用して、校務処理を積極的に推進している。	3.7	3.4	3.6
⑤ 開かれた学校	(1) 保護者との連携	協力体制の確立	生徒に関する情報を相互に提供する。	保護者と連携して、教育活動に情報を提供し、進んで活動に参加している。	3.0	3.1	3.5
	(2) 地域や関係機関との連携	協力体制の確立	学校方針や教育活動について情報を提供する。	教育活動等の情報をホームページや情報紙等により提供している。	4.0	3.3	3.5